



## 平成 19 年度「ふるさと探訪ハイキング」

主催：岐山地区コミュニティ推進協議会  
平成 20 年 2 月 11 日(祝・月) 9:30 スタート

### 周南市文化会館

徳山藩主毛利氏居館跡に昭和 57 年に徳山文化会館が建設された、緑の銅板ぶきの建物で総事業費 43 億円といわれ、文化都市徳山にふさわしい会館である。

1,800 人収容の大ホールを中心に、リハーサル室、練習室、展示室、和室、ロビーなどがあり、延べ面積 11,118 m<sup>2</sup>で、特に音響効果を重視した大ホールは全国にも誇りうるものである。その後の改修については、文化ホールの心臓部ともいえる音響・照明設備の全面更新(平成 13 年度)、全館の空調システムの一新・練習室 1 と練習室 2 の壁の増強による消音性能の向上・トイレの自動センサーの取付け(平成 14 年度)、床カーペットの張替え・舞台吊り物ワイヤーの取替え(平成 15 年度)、舞台床の張替え・楽屋の増設・大道具搬入口の拡張・外灯の取替え(平成 16 年度)、大ホールの客いすの張替え(平成 17 年度)などがある。

### 常禱院(延命地藏様・観音様・お大師様)

徳山藩祖毛利就隆が慶安 3 年(1650 年)、野上に移住した頃は真言宗の宗祖弘法大師が建てられた多くの坊は、数百年を経てほとんど廃絶していたが残っていた遠石八幡宮十二坊の一つ、常灯坊を館の裏山に移し真言宗常禱院として毛利家の祈禱所とした。

元禄 13 年(1700 年)、三代藩主元次のとき、金剛山長久寺常禱院と改め、文化元年(1804 年)に八代藩主広鎮が再び祈年山常禱院と改称した(今年は 60 年に一度の御開帳となる年です)

### 幸の台

金剛山の東部山腹に幸の台という市内を一望できる住宅地が造成され住宅が建てられている。この住宅から山の頂上の広場までに桜 2,000 本、さざんか 300 本、梅 100 本、もみじ 200 本、れんぎょう 100 本、きょうちくとう 300 本、つつじ 35,000 本が植えてあり、桜の季節には見事な景観である。

これは福谷正夫氏が植樹され、長年にわたり手入れされたもので市民の憩いの場所となっている。

### 野村記念館

野村記念館は、山口放送初代社長の野村幸祐氏の遺徳を偲んで、福谷産業社長の福谷正夫氏が創設されたものである。記念館は徳山湾をのぞむ幸の台にあり、周囲には見事な庭園が広がっている。また、館内には野村幸祐氏が収蔵されていた書などが展示されている。